（別紙２－４）

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　　総括表

法人名	医療法人社団　松涛会	代表者	斎藤　正樹
事業所名	小規模多機能 ケアタウン江の浦	管理者	中尾　効史

法人・事業所の特徴	家庭的な環境を作り安心、安全な日常生活を送れるよう支援している。行事、外出支援も充実している。敷地内には内科があり、往診や緊急時の受診で適切な医療が受けられ安心した生活を送る事が出来る。本人家族の希望があれば、最後まで施設での看取りも行なっている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	1人	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	情報収集して地域のイベントに参加し、事業所からも積極的に出向いて毎年一歩ずつ地域に溶け込む様に努力する。	運営推進会議等からの情報で地域のイベントに出向く事は増えたが、身体レベルの高い方ばかり参加になっている。計画立てて車椅子の利用者も参加出来るようにしたい。	カフェや体操教室の開催が実現できればいい。外部から来られるいい機会だと思うが徐々にしていったらいい。	前年同様、情報収集し、地域のイベントに参加する。地域に溶け込めるように積極的に出向きアピールする。
B．事業所のしつらえ・環境	特に問題ないと評価を頂いた。ますます快適で開かれた事業所を目指す。	近所の方が気軽に遊びに来られる様にはなっていない。	会議のメンバーは慣れているから入りやすいが、初めての方は入りづらいのは仕方無いのでは。逆にあまり入りやすかったら防犯上困るのでは。	施設内外の防犯に係わる安全を確保する。 季節ごとの飾りつけや環境整備継続する。
C．事業所と地域のかかわり	小規模多機能を知ってもらう為、施設見学等を行い地域にアピールする。	施設見学と云う形はとっていないが、ボランティアの演奏会などの機会に地域の方を呼んで参加して頂いている。	何か相談事がある際、この施設をわかっている人は相談しやすいと思うが、そうでない場合は難しいのではないか。	カフェや体操教室を開催し、事業所から地域への発信を行い、親しみやすい馴染みの関係を構築できるよう努力する。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	園児の見守りや公園の清掃等は定期的に行えるように計画を立てる。	子供見守り隊は時間が合わない為継続出来なかった。清掃活動は数回行えた。今後も継続していきたい。	まちカフェと云う物がある。キャラバンメイトで傾聴ボランティアもあると聞いた。	計画を立て、利用者と共にイベント、行事に参加できる体制を作る。子ども見守り隊や公園の清掃も定期的に行う。
E．運営推進会議を活かした取組み	他の自治会の民生委員の方に事業所に来て頂き、利用者とお話しするボランティアになってもらうよう要請する。	民生委員の会長に傾聴ボランティアに来て頂くようにお願いに伺ったが残念ながら実現出来なかった。	写真で見たひな祭りや七夕会等も見て参加してみたい。もっと宣伝するといいのでは。	それぞれが情報交換を行い、利用者や地域の方が安心して暮らし楽しみ生きがいが持てる様に協働し取り組んでいく。
F．事業所の防災・災害対策	避難訓練、会長さんや近隣の方達にも参加して頂く。	会長さん、民生委員さんには連絡を入れ参加して頂いたが、その他の近隣の方への連絡を行なえてなく参加して頂けなかった。	水害時、小学校まで行き避難するよりケアタウンのビルの上に避難させてもらった方が安全と思う。	運営推進会議のメンバー以外の近隣の方々にも避難訓練に参加してもらい共に防災、災害対策に取り組む。